

特製フオーク贈る

洋風かつ井研究会 スタンプリィ参加者に



賞品をもらい喜ぶ晴翔ちゃん(右)

フオークを手渡した。
大塚会長は「これから福

岡都市圏の物産展、都市圏の住民を大牟田に招き洋風かつ井を食べていただくツアーを企画しています。市外へ認知度を広める活動を展開していきます」と話した。

特製フオークももらったよ。とおむた洋風かつ井研究会(会長、大塚力久商工会議所食品部会長)は二十五日、開催したスタンプリィの応募者に賞品の特製フオークとメンバーズカードを手渡した。スタンプリィ参加者最年少の石川晴翔(はると)ちゃん(四)は「タレが甘酸っぱくて美味しかった。家族みんなでもた食べに行きたい」と話した。洋風かつ井は約十年前に閉店した松屋デパート大食堂で人気だった。閉店後提供する店がなくなつたことから研究会を立ち上げ、当時勤めていた松尾義博さん(中国料理彩花オーナー)を中心にレシピを

再現。旧三井港倶楽部、彩花が昨年七月から、新栄町のもんど商店や有明町のレストランだいふくなど市内三十二店舗でオリジナルの洋風かつ井を販売。販売店のなかから二十八店舗が参加し昨年十一月から二か月間スタンプリィを開催していた。二十五日の授与式には十店舗を巡つた達成者のうち、石川晴翔ちゃんをはじめ七人が参加。大塚会長が特製フオークとメンバ